

【大学間協定留学】 留学近況報告書

記入日	2023年 11月 2日
留学先大学	チュラロンコン大学（日本語名） จุฬาลงกรณ์มหาวิทยาลัย（現地言語名）
留学先の所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している（以下に学部等名を記入） ※学部等名（日本語）：文学部 （現地言語での名称）：คณะอักษรศาสตร์ (BALAC) <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他：
留学期間	2023年8月－2023年12月
明治大学の所属学部等	国際日本学部（学部/学科/研究科/専攻等）
学年（出発時の本学での学年）	3年生

I. 出発前にどのように情報を集め、準備をしましたか。しておいて良かったこと、準備不足だったこと、ぜひ次の学生に準備としてアドバイスしたいことを記述してください。

様々なきっかけがあり、大学入学前からすでにタイ留学を考えていました。学習面の準備としては、国際日本学部で英語開講（Type1 など）の授業をとったり、学外でタイ語のレッスンを受けたりしていました。友人の力もあって、明治に留学中のタイ人の学生と親しくなれたこともあり、日本にいながらもタイの学生の過ごし方や価値観などに触れ、現地での生活を想像することができました。また、昨年チュラロンコンの別の学部で留学をしていた明治の方と偶然連絡をとることができたため、その方から、大学の様子、ビザや出願書類の書き方などを詳しく教えていただくこともできました。タイ留学をする人はまだ多くはないようで数は少ないのですが、ブログでタイ留学のことを紹介している日本人のブロガーさんの記事などにもよく目を通していました。大学や年度、入る学部によって雰囲気は変わってくるかもしれませんが、そうした情報もとても参考になりました。私が伝えられるのはチュラロンコン、特に BALAC のことがメインになりますが、もし興味があれば、連絡をしてもらえたらなんでもお伝えします！

II-1. 留学のための渡航前手続き（留学ビザ） ※詳細に記入して下さい

ビザの種類：NON IMMIGRATION ED	申請先：在東京タイ大使館
ビザ取得所要日数：3 日ほど （申請してから何日/週間要したか）	ビザ取得費用：10000 円（現金のみ）

1. ビザ取得のためにどのような書類の提出が求められましたか？また、どのように手配しましたか？

パスポート原本/ パスポートのコピー（A4 サイズに拡大コピー）/ 申請書/ 証明写真×1/ 明治からの推薦状 / チュラロンコン大学からの入学許可書（原本のみ。チュラ大から明治の事務室宛てに郵送された）/ 航空券の e ticket のコピー（入国日は、ビザ申請のときに申請する日にちと同じ必要あり）

2. 具体的な申し込み手順を教えてください。

大学からの入学許可書原本を 6 月下旬に受け取る。授業がはじまる数日前に到着する航空機を予約。申請書を記入し、資料をすべてそろえたうえで大使館の申請の空きをウェブ上で確認。最初見たときは 7 月末まで満杯になっておりどうしようかと思ったのですが、夜になるとサイトが更新され翌日の朝の時間帯が空きになることがあると分かったので、何日かねばって 6 月末のある日の深夜に予約をし、翌朝に大使館まで行き申請をしました。

3. ビザ取得の際に、留学先国大使館で面接があった方は、どのような質問を受けましたか？

面接はありませんでした。

4. ビザ取得に関して困った点・注意点

II-2. 留学のための渡航前手続き（その他の事前準備について）

その他済ませておくべき準備があればお書き下さい（現地での現金調達準備、携帯電話購入、荷物運送など）

お金関係：到着後、一番困ったのがお金関係だったので詳しく書きます。結論から言うと“Wise”（低額の手数料で、世界中のどこでも ATM からお金を引き出せるデビットカード）をつくっておくことをおすすめします。デビット機能付きのクレカであれば街中の ATM でいつでもお金を下ろすことができるようでしたが、毎回 200 バーツ（日本円で 800 円ほど）を手数料で払わなければいけないようでした。Wise であればより手数料を抑えることができます。私の場合、クレカにデビット機能がついていないことを確認していなかった、かつ Wise カードも持っていなかったため、最初の数週間は、日本から持ってきた現金を頻りに両替したり、クレカの上限ぎりぎりまではカードで支払いをしたり、最後は友人などにお金を借りたりもしたりと、お金に関して大変な時期を過ごしました。8 月末になって、ようやくタイで銀行口座を開けられたこと（チュラ大生であれば、連携している銀行の口座を比較的簡単につくれます）、家族に Wise のアプリを登録してもらってタイの私の口座に送金をしてもらえるようになったことで事なきを得ましたが、次のごはんをどうしよう…と考えるのは辛い期間でした。せっかく奨学金などをいただくことができても、現地でそれを使えないとまったく意味がなくなってしまうので、“現地でお金をどう使えるようにするか”をしっかりと考え、余裕をもって準備しておくことをおすすめします。

スマホ関係：自分のスマホを SIM フリーにして持っていき、空港で数日分のみの旅行者用 sim カードを購入してその場で差し替えてもらい、まず最初の 1 週間ほど過ごしました。移動や連絡でなにかとスマホは必須になるので、着いたらすぐに SIM のことをやってしまうのをおすすめします。その後は、MBK（チュラ大から徒歩圏内の大型デパート）の 5 階にある SIM 売り場で、1 年間の長期 SIM を購入して再び差し替えてもらいました。1 年間のものとはいってもそれほど高額ではなかったので、ここで手に入れるのをおすすめします。

便利なアプリ関係：1 か月を過ぎるようになってほぼ毎日使っているのが“Grab”というアプリです。日本という Uber に近いもので、タクシー・バイクなどを素早く呼べるうえ、食事を注文して指定場所まで運んでもらうこともできます。また、“Grab Express”というものを使うと、スーツケースなどの大きな荷物を指定場所に届けてもらうこともできるよう。（私はまだ使ったことがありませんが、タイ人の友人が教えてくれました）また、バンコクには数種類の電車が走っており、タクシーよりも安いのと、時間が正確なのでよく利用しています。私は“Transit”というアプリをダウンロードし、出発駅と行きたい駅を入力して、かかる時間や金額を確認しています。ほかにも便利なアプリが色々ありそうなので、出発前にネットで色々調べてみてください。

Ⅲ. 現地到着後のながれ

1. 到着時の様子

利用航空会社	タイ航空		
航空券手配方法	航空会社のサイトから予約		※利用した旅行社・旅行サイト、格安航空券情報等があれば記入
大学最寄空港名	スワンナプーム国際空港	現地到着時刻	15 時半ごろ
キャンパスへの移動手段	<input type="checkbox"/> 大学手配の出迎え <input type="checkbox"/> 知人の出迎え <input type="checkbox"/> 公共交通機関 <input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車	<input type="checkbox"/> タクシー	<input checked="" type="checkbox"/> その他 （到着した時間は寮のチェックイン時間外だったので、まずは電車で都心に出て、タイ人の友人と合流し、彼女のお母さんに車で迎えにきてもらいました。その日は友人の家で夜過ごし、翌朝大学に向かいました。）
移動の所要時間	—		
空港からキャンパスへの移動の際の注意点、タクシー・公共交通機関で移動する際の行き方、料金等 空港からキャンパスに行く場合、まず Airport Railway Link（スワンナプーム国際空港と都心を結ぶスカイトレイン）に乗ります。終点の Phaya Thai までは 30 分くらいで行くことができ、そこで BTS に乗り換え、Siam 駅まで行きます。Siam 駅から大学までは歩くことができますが、寮（CU ihouse）となると少し遠いので、もし大荷物を持っているようなら、Grab でタクシーを呼び移動するのをおすすめします。			
大学到着日	8 月 4 日 9 時頃		

2. 住居について		
到着後すぐに住居入居できましたか？	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	いいえを選んだ方： 月 日から入居可能だった。
住居のタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> その他（ ）	
部屋の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 一人部屋 <input type="checkbox"/> 二人部屋 <input type="checkbox"/> その他（ ）	
ルームメイト	<input type="checkbox"/> 日本人学生 <input type="checkbox"/> 他国からの留学生 <input type="checkbox"/> その他（ ）	
住居を探した方法	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 自分で探した <input type="checkbox"/> その他（ ）	
住居の申込み手順	チュラ大から春頃に届いたメールに、CU ihouse（国際寮）に関する情報があったので、そこに添付されていた Google フォームを提出しました。ihouse の方から OK のメールが届けば、部屋を確保できたこととなります。チェックインの日に、一か月分と、さらにもう一か月分をデポジットとして一括で支払います。（支払いは現金でもカードでも可能）	
住居は渡航前に、また渡航後すぐに見つかりましたか？トラブルはありましたか？		

3. 留学先でのオリエンテーションについて	
オリエンテーションの有無	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった
日程	BALAC：8月4日 全体：8月8日
参加必須ですか？	<input type="checkbox"/> 必須 <input checked="" type="checkbox"/> 任意参加
参加費用は？	<input checked="" type="checkbox"/> 無料 <input type="checkbox"/> 有料（金額： ）
内容と様子は？	BALAC の方では、チュラ大の紹介・学生生活について（制服などの情報も）のオリエンテーションが1時間ほどありました。そこで BALAC の他の留学生と知り合い、仲良くなることができたので、寮のチェックインの直後でばたばたでしたが参加して良かったと思います。 全体の方では、チュラ大の紹介・チュラ大生のアプリの使い方の説明・クラブ活動の紹介・他国とは異なるタイの文化に関するレクチャーなどがありました。こちらは学生同士の交流が目的ではありませんが、知っておくべき色々な情報を知れたので参加できて良かったと思います。
留学生用特別ガイド	<input type="checkbox"/> あった <input checked="" type="checkbox"/> なかった
授業開始日	8月7日から

IV. その他、渡航してから必要な手続きについて

1. 現地で滞在許可等の申請の必要はありますか？いつ、どこで、方法は？日数、料金は？トラブルは？

タイ大使館で発行された教育ビザは、90日で期限を迎えます。そのため、期限前に Immigration Office に足を運び延長申請をする必要がありました。留学生の友人と予定を合わせ、10月に入ってすぐに Office に行くことになりました。オンラインで予約をできていればスムーズだったのですが、私がサイトを見たときにはすでに10月の予約枠が満杯になっていたため、予約なしで直接行きました。朝8時前に着いたのですが、整理券をもらってから長い間待たねばならず、申請をできたのは正午をまわって午後4時頃でした。1学期であれ1年間であれ必ず延長をしなければならないので、期限がくる1か月半くらい前には、Immigration Office のサイトを開いてまず予約をしてしまうのをおすすめします。また、延長申請が早すぎると、思ったよりも延長される期間が短くなってしまうこともあるので、期限の10日前くらいを目安に行く予定を立てるといいと思います。

2. その他現地でした手続きは？（健康診断、予防接種等）いつ、どこで、方法、日数、料金は？トラブルは？

現地に着いてから受けた健康診断や予防接種はありません。

3. 現地で銀行口座を開きましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？

開設しました。前の章でも書いたとおり、チュラ大生であれば「カシコーン銀行」の口座を比較的簡単につくれます。またさらにいうと、ATM で引き出しに必要なカードがそのまま学生証にもなります（口座を開設せず、カードのみを受け取ることも可能。）タイでは現在ほぼ全ての場所でQRコード決済をすることができ、カシコーン銀行口座をつくる際にアプリの設定をすれば、留学生でもQRコード決済をできるようになります。銀行口座を開きたい場合は、大学の事務室から特別な書類を受け取り、それとパスポートの原本を持って銀行まで行きます。その場でもいくつか書類を書いてすべて提出をすると、1週間ほどで口座ができます。カードはその後しばらくすると受け取れるようになります。

4. 現地で携帯電話を購入しましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？

現地で携帯電話は購入せず、SIMを購入して差し替えました。

V. 履修科目と授業について

1. 履修登録はいつどのような形で行いましたか？

出発前に（7月中旬日頃）

オンラインで登録 志願書類に記入して登録 できなかった その他（ ）

到着後に（ 月 日頃）

オンラインで登録 国際オフィス等の仲介 できなかった その他（ ）

登録時に留学生として優先されることはありましたか？

あった

なかった

優先が「あった」方はどのように優先されましたか？

優先が「なかった」方はどのように登録しましたか？

BALAC の授業リストが大学からメールで送られてくるので、それや、公式サイトを見てとりたい授業をチェックし、専用のサイトで申請します。申請は3ラウンドに分かれており、それぞれのラウンドで申請できる授業が少しずつ異なります。

2. 出発前に授業を登録した方は、現地で変更・追加できましたか？また希望通りの授業が取れましたか？

1週目に、オンラインですでに申請している授業に加え気になる授業にすべて参加をし、実際にとるか辞めるかを決めました。9月半ばまで取り消しができたので、数回受けてどうしても合わないと思ったものは正式にドロップしました。定員は一応ありますが、途中でドロップする学生もいることから、比較的人数をオーバーめにとっている授業が多いです。なので、どうしてもとりたい授業があれば、先生やオフィスと交渉していただくことができます。

VI. 一週間のスケジュール 授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください。

	月	火	水	木	金	土	日
7:00					起床・朝食		
8:00	起床・朝食	起床・朝食	起床・朝食	起床・朝食	他 大 学 (SWU) で の日本語授 業に TA 参 加(8時半か ら)	起床・朝食	起床・朝食
9:00	部 屋 の 掃 除・洗濯な ど	授業(9時半 から)	授業(9時半 から)	授業(9時半 から)	〃	友人らと出 かける or 週 末にかけて バンコク近 郊の旅行な ど	友人らと出 かける or 週 末にかけて バンコク近 郊の旅行な ど
10:00	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
11:00		〃	〃	〃	〃	〃	〃
12:00	昼食	〃 (12時半 まで)	〃 (12時半 まで)	〃 (12時半 まで)	〃 (12時ま で)	〃	〃
13:00		食堂で昼食	食堂で昼食	食堂で昼食	食堂で昼食	〃	〃
14:00	火曜日の授 業の資料を 読む	午前の授業 の復習と課 題	タイ語の授 業の復習	他学部のタ イ語の授業	帰宅	〃	〃
15:00	〃	〃	〃	〃	その週の授 業の課題な ど	〃	〃
16:00	〃		〃	〃	〃	〃	〃
17:00	〃		ビルマ語の 課外授業	帰宅		〃	〃
18:00	寮近くをウ ォーキング		〃	近くのカフ ェでヨガ講 座に 参加		〃	〃
19:00	友人などと 夕食	友人などと 夕食	ビルマ語の メンバーと 夕食	友人などと 夕食			
20:00	帰宅	帰宅	帰宅	帰宅			
21:00							
22:00							
23:00							
24:00							

VII. 現在までの感想

留学先大学、プログラムについて、授業、宿舎、生活全般についてなど、自由に書いてください。

すでに何度か来たことがある国であり、言語や文化風習などを“それなりにすでに”知っていた場所での留学だったからこそ、さらに学びを深められて良かった場面もあれば、自分が思っていたとおりにいかずもどかしさや辛さを感じた場面もありました。チュラロンコン大学自体は、タイのみならずアジア中、はたまた世界の様々な国から来た学生がいること、レベルが高く内容が面白い授業が多くあること、多種多様なイベント・アクティビティが日々行われていることなどから、とても活気があり面白い環境です。ただし、非英語圏の留学にはどこでも当てはまることかもしれませんが、どうしても、“タイ語を話せる（タイ人並みに）かどうか”によって、参加できるクラブや活動に制限が出てしまったり、英語開講の授業なのに周りがみんなタイ語で話して置いて置いてけぼりになったり…という場面も何度もあります。だからこそ他国から来た留学生とすぐに距離が縮まり、協力しながらタイ語環境で生きていくという面白い経験もできているので、できる努力は続けつつも、“理想とはちがくても、ここでしかできないことを何でも楽しむ”という姿勢でこれからもいられたらと思います。幸いにもこれまで、大きなけがや病気に悩まされたり、事件に巻き込まれたりしたことはありません。日本とは衛生状況も交通事情も食文化も大きく異なりますが、現地の人を見て同じように行動するようにしたり、不安なことはネットで調べたり親しいタイ人の友人に尋ねたりと、“違う”とはねつけるのではなく、なるべく自分のなかに取り込もうとして楽しむことができています。

留学先大学を目指す学生に向けてのアドバイスをお願いします。

英語はもちろんのこと、できればタイ語も少し学んでから留学に来るととても良いと思います。もちろん、上述したようにタイ語が少し話せてもまだ現地学生との間に壁があると感じることはありますが、一般的にタイ人の人たちと最も早く距離を縮められる瞬間は、タイ語を話しているときだと思います。また、言語の知識があると、街を歩いていたたりちょっとした日常会話を聴いたりしているだけでも、面白い発見ができたりもします。非英語圏ならではの大変さもありますが、上にも述べたように、だからこそ、英語圏はもちろんのこと、様々な国から来た学生と協力してひとつひとつを乗り越える楽しさもあります。もしすでにタイ留学に興味がある人にはぜひ、そしてまだ決めかねているという人にもぜひおすすめしたい留学先です。